

# ダイワ日本企業外債ファンドS (為替ヘッジあり/ 部分為替ヘッジあり) 2016-12

## 運用報告書 (全体版) 第9期

(決算日 2021年3月10日)

(作成対象期間 2020年9月11日~2021年3月10日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日系企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3638>  
<3639>

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信/海外/債券		
信託期間	約6年8カ月間 (2016年12月30日~2023年9月8日)		
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12の受益証券	
	ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利益回り	公社債 組入比率	債券先物 比率	元本 残存率
	(分配)	税込み 分配金	期中 騰落額	期中 騰落率				
設定 (2016年12月30日)	円 10,000	円 -	円 -	% -	% -	% -	% -	% 100.0
1期末 (2017年3月10日)	9,963	30	△ 7	△0.1	△0.4	93.7	-	100.0
2期末 (2017年9月11日)	10,317	100	454	4.6	6.4	93.7	-	97.1
3期末 (2018年3月12日)	9,887	80	△350	△3.4	0.8	92.3	-	97.1
4期末 (2018年9月10日)	9,721	60	△106	△1.1	△0.1	98.2	-	95.7
5期末 (2019年3月11日)	9,816	35	130	1.3	0.6	96.7	-	95.7
6期末 (2019年9月10日)	10,297	35	516	5.3	2.4	96.7	-	72.8
7期末 (2020年3月10日)	10,436	60	199	1.9	2.6	92.5	-	72.8
8期末 (2020年9月10日)	10,555	130	249	2.4	2.9	96.4	-	52.8
9期末 (2021年3月10日)	10,393	140	△ 22	△0.2	2.5	98.6	-	52.8

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

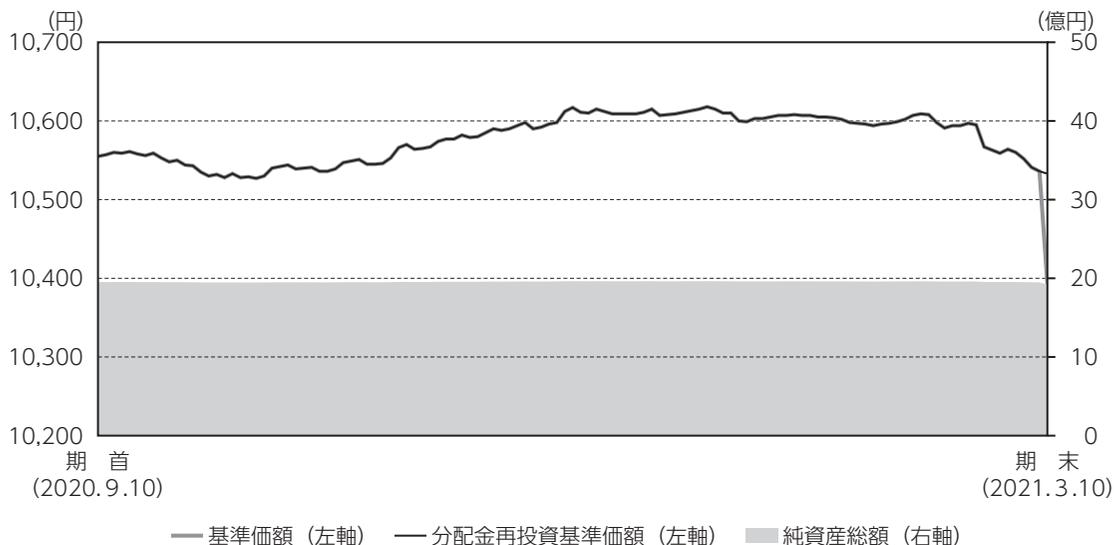
(注4) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：10,555円

期末：10,393円（分配金140円）

騰落率：△0.2%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12」の受益証券を通じて、主として日系企業が発行する米ドル建ての社債に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行った結果、保有債券からの利息収入がプラス要因となったものの、社債金利の上昇（債券価格は下落）を反映し、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ日本企業外債ファンドS（為替ヘッジあり）2016-12

年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率	債 券 先 物 率
		騰 落	率		
(期首) 2020年 9 月10日	円		%	%	%
	10,555		—	96.4	—
9 月末	10,543		△0.1	95.9	—
10月末	10,545		△0.1	94.6	—
11月末	10,594		0.4	93.8	—
12月末	10,613		0.5	93.2	—
2021年 1 月末	10,602		0.4	93.9	—
2 月末	10,567		0.1	95.3	—
(期末) 2021年 3 月10日	10,533		△0.2	98.6	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2020.9.11~2021.3.10)

### ■米国債券市況

米国債券市場では、国債および社債の金利が上昇しました。

米国において民主党が大統領府・連邦議会上下両院を制し、市場で追加経済対策への期待が高まったことや、新型コロナウイルスのワクチンが開発されて市場で景気回復期待が強まったことなどから、国債金利は上昇しました。

米ドル建ての社債については、ワクチン開発の進展を背景とした景気回復期待を受けてスプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小したものの、金利が上昇した銘柄が多く見られました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12

主として、日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

## ポートフォリオについて

(2020.9.11~2021.3.10)

### ■当ファンド

「ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

### ■ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12

主として、日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオを維持しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は140円といたしました。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■収益分配金の計算過程

計算期間末における純資産額の元本超過額98,514,217円が、経費控除後の配当等収益29,325,877円を超過しているため、純資産額の元本超過額98,514,217円（1万口当り532.81円）を分配対象額として、うち25,884,981円（1万口当り140円）を分配金額としております。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12

主として、日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020.9.11~2021.3.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	29円	0.273%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,577円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0.164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(10)	(0.095)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.009	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	30	0.282	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

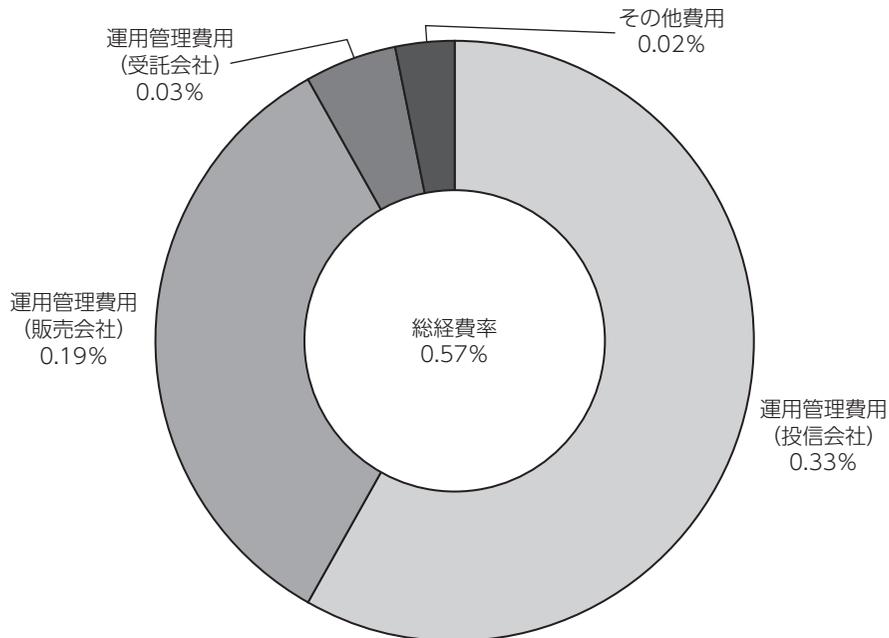
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.57%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表  
親投資信託残高

種 類	期 首 当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ日本企業外債マザーファンドS2016-12	1,718,008	1,718,008	1,982,409

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年3月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ日本企業外債マザーファンドS2016-12	1,982,409	98.0
コール・ローン等、その他	41,079	2.0
投資信託財産総額	2,023,489	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売相場場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108.57円です。

(注3) ダイワ日本企業外債マザーファンドS2016-12において、当期末における外貨建純資産（2,072,304千円）の投資信託財産総額（2,139,057千円）に対する比率は、96.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年3月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,873,702,562円
コール・ローン等	41,079,970
ダイワ日本企業外債マザー ファンドS2016-12(評価額)	1,982,409,748
未収入金	1,850,212,844
(B) 負債	1,952,146,100
未払金	1,920,846,664
未払収益分配金	25,884,981
未払信託報酬	5,334,521
その他未払費用	79,934
(C) 純資産総額(A - B)	1,921,556,462
元本	1,848,927,226
次期繰越損益金	72,629,236
(D) 受益権総口数	1,848,927,226口
1万口当り基準価額(C / D)	10,393円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,393円です。

■損益の状況

当期 自2020年9月11日 至2021年3月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 7,141円
受取利息	246
支払利息	△ 7,387
(B) 有価証券売買損益	△ 47,286,541
売買益	49,854,634
売買損	△ 97,141,175
(C) 有価証券評価差損益	48,619,634
(D) 信託報酬等	△ 5,420,395
(E) 当期損益金(A + B + C + D)	△ 4,094,443
(F) 前期繰越損益金	102,608,660
(G) 合計(E + F)	98,514,217
(H) 収益分配金	△ 25,884,981
次期繰越損益金(G + H)	72,629,236

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 収益分配金の計算過程は5ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1万口当り分配金(税込み)	140円

部分為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利益回り	公社債 組入比率	債券先物 比率	元本 残存率
	(分配) 落	税込み 分配金	期中 騰落額	期中 騰落率				
設定 (2016年12月30日)	円 10,000	円 -	円 -	% -	% -	% -	% -	% 100.0
1期末 (2017年3月10日)	9,941	35	△ 24	△0.2	△1.2	94.3	-	100.0
2期末 (2017年9月11日)	10,119	120	298	3.0	3.9	94.2	-	100.0
3期末 (2018年3月12日)	9,659	100	△360	△3.6	△0.7	92.9	-	29.4
4期末 (2018年9月10日)	9,616	85	42	0.4	△0.3	98.3	-	29.4
5期末 (2019年3月11日)	9,723	70	177	1.8	0.6	96.9	-	29.4
6期末 (2019年9月10日)	10,117	70	464	4.8	2.2	96.3	-	29.4
7期末 (2020年3月10日)	10,154	85	122	1.2	2.2	94.3	-	17.6
8期末 (2020年9月10日)	10,364	135	345	3.4	2.9	96.8	-	17.6
9期末 (2021年3月10日)	10,275	145	56	0.5	2.7	97.5	-	17.6

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

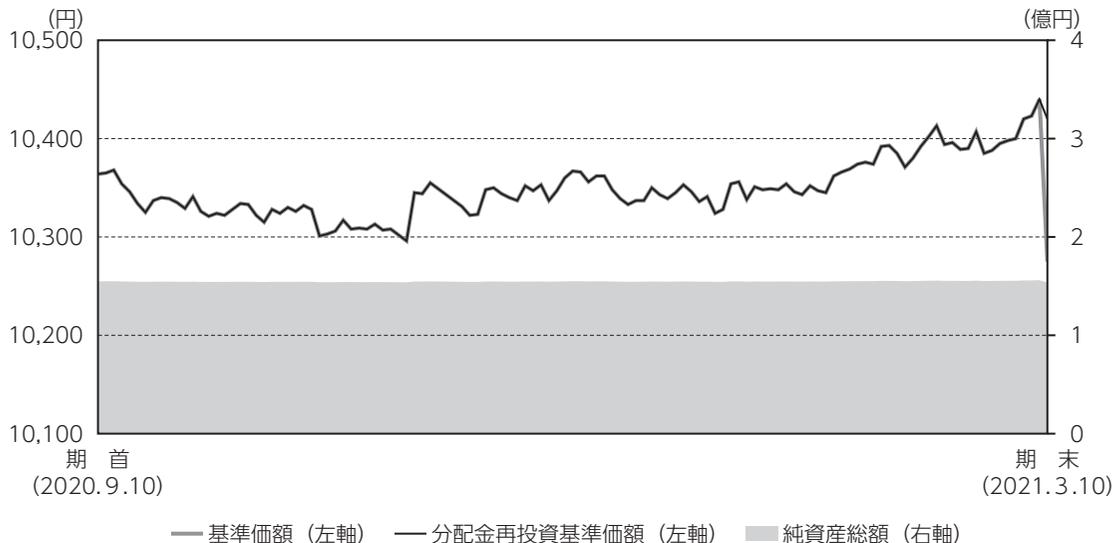
(注4) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：10,364円

期末：10,275円（分配金145円）

騰落率：0.5%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12」の受益証券を通じて、主として日系企業が発行する米ドル建ての社債に投資し、為替変動リスクを低減するため、部分為替ヘッジを行った結果、社債金利の上昇（債券価格は下落）はマイナス要因となったものの、円安米ドル高や保有債券からの利息収入を反映し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ日本企業外債ファンドS（部分為替ヘッジあり）2016-12

年 月 日	基 準	価 額	公 社 債 率	債 券 先 物 率
		騰 落 率		
(期首) 2020年 9 月10日	円	%	%	%
	10,364	—	96.8	—
9 月末	10,341	△0.2	96.4	—
10月末	10,308	△0.5	95.4	—
11月末	10,337	△0.3	94.7	—
12月末	10,346	△0.2	94.3	—
2021年 1 月末	10,366	0.0	94.7	—
2 月末	10,385	0.2	95.5	—
(期末) 2021年 3 月10日	10,420	0.5	97.5	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2020.9.11～2021.3.10)

### ■米国債券市況

米国債券市場では、国債および社債の金利が上昇しました。

米国において民主党が大統領府・連邦議会上下両院を制し、市場で追加経済対策への期待が高まったことや、新型コロナウイルスのワクチンが開発されて市場で景気回復期待が強まったことなどから、国債金利は上昇しました。

米ドル建ての社債については、ワクチン開発の進展を背景とした景気回復期待を受けてスプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小したものの、金利が上昇した銘柄が多く見られました。

### ■為替相場

米ドルは対円で上昇（円安）しました。

当作成期首から2020年12月にかけて、新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念から市場参加者のリスク回避姿勢が強まったことなどから円高が進行し、米ドルは対円で下落（円高）しました。その後は、新型コロナウイルスのワクチン開発で大きな進展があったことや、米国での大規模な財政政策への期待が高まったことなどから、上昇に転じました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、部分為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12

主として、日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

## ポートフォリオについて

(2020.9.11~2021.3.10)

### ■当ファンド

「ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、部分為替ヘッジを行いました。

### ■ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12

主として、日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオを維持しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は145円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■収益分配金の計算過程

計算期間末における純資産額の元本超過額6,277,154円が、経費控除後の配当等収益2,333,116円を超過しているため、純資産額の元本超過額6,277,154円（1万口当り419.97円）を分配対象額として、うち2,167,253円（1万口当り145円）を分配金額としております。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、部分為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12

主として、日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2020.9.11~2021.3.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	28円	0.273%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,349円です。
（投 信 会 社）	(17)	(0.164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(10)	(0.095)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.012	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.004)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	30	0.285	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

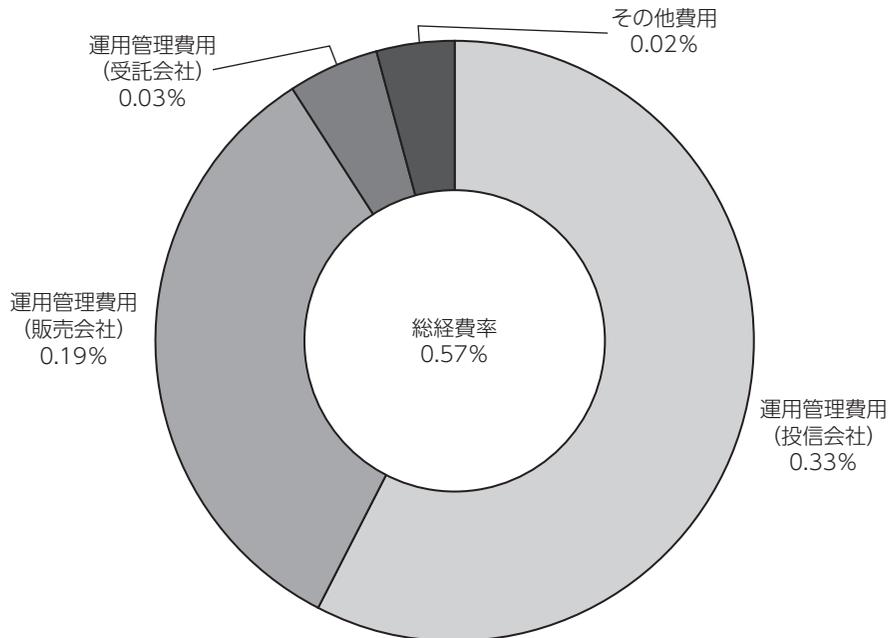
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.57%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2020年9月11日から2021年3月10日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ日本企業外債マザーファンドS2016-12	-	-	1,087	1,250

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ日本企業外債マザーファンドS2016-12	136,877	135,789	156,687

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年3月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ日本企業外債マザーファンドS2016-12	156,687	97.9
コール・ローン等、その他	3,371	2.1
投資信託財産総額	160,058	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=108.57円です。

(注3) ダイワ日本企業外債マザーファンドS2016-12において、当期末における外貨建純資産(2,072,304千円)の投資信託財産総額(2,139,057千円)に対する比率は、96.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年3月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	261,197,956円
コール・ローン等	3,371,051
ダイワ日本企業外債マザーファンドS2016-12(評価額)	156,687,514
未収入金	101,139,391
(B) 負債	107,622,284
未払金	105,027,028
未払収益分配金	2,167,253
未払信託報酬	421,799
その他未払費用	6,204
(C) 純資産総額(A-B)	153,575,672
元本	149,465,771
次期繰越損益金	4,109,901
(D) 受益権総口数	149,465,771口
1万口当り基準価額(C/D)	10,275円

\*当期末の計算口数当りの純資産額は10,275円です。

■損益の状況

当期 自2020年9月11日 至2021年3月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 278円
受取利息	11
支払利息	△ 289
(B) 有価証券売買損益	△2,441,550
売買益	2,888,388
売買損	△5,329,938
(C) 有価証券評価差損益	3,708,095
(D) 信託報酬等	△ 433,943
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	832,324
(F) 前期繰越損益金	5,444,830
(G) 合計(E+F)	6,277,154
(H) 収益分配金	△2,167,253
次期繰越損益金(G+H)	4,109,901

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 収益分配金の計算過程は13ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1万口当り分配金(税込み)	145円

# ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12

運用報告書 第9期 (決算日 2021年3月10日)

(作成対象期間 2020年9月11日~2021年3月10日)

ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12の運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

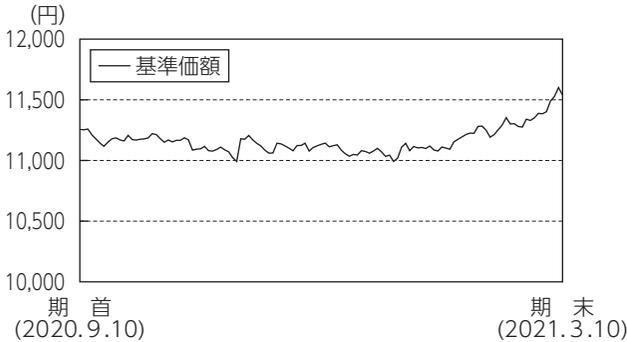
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率		公 社 債 組 入 比 率 %	債 券 先 物 率 %
		騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2020年 9月10日	11,256	-	-	97.3	-
9 月 末	11,207	△0.4	-	97.1	-
10 月 末	11,091	△1.5	-	96.8	-
11 月 末	11,080	△1.6	-	96.5	-
12 月 末	11,071	△1.6	-	96.2	-
2021年 1 月 末	11,174	△0.7	-	95.9	-
2 月 末	11,330	0.7	-	95.6	-
(期末) 2021年 3月10日	11,539	2.5	-	95.6	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。  
 (注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。  
 (注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,256円 期末：11,539円 騰落率：2.5%

【基準価額の主な変動要因】

主として日系企業が発行する米ドル建ての社債に投資した結果、社債金利の上昇(債券価格は下落)はマイナス要因となったものの、円安米ドル高や保有債券からの利息収入を反映し、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○海外債券市況

米国債券市場では、国債および社債の金利が上昇しました。

米国において民主党が大統領府・連邦議会上下両院を制し、市場で追加経済対策への期待が高まったことや、新型コロナウイルスのワクチンが開発されて市場で景気回復期待が強まったことなどから、国債金利は上昇しました。

米ドル建ての社債については、ワクチン開発の進展を背景とした景気回復期待を受けてスプレッド(国債に対する上乗せ金利)は縮小したものの、金利が上昇した銘柄が多く見られました。

○為替相場

米ドルは対円で上昇(円安)しました。

当作成期首から2020年12月にかけて、新型コロナウイルスの感

染再拡大への懸念から市場参加者のリスク回避姿勢が強まったことなどから円高が進行し、米ドルは対円で下落(円高)しました。その後は、新型コロナウイルスのワクチン開発で大きな進展があったことや、米国での大規模な財政政策への期待が高まったことなどから、上昇に転じました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主として、日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを中心としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

◆ポートフォリオについて

主として、日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオを維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

主として、日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを中心としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	1 (1)
(その他)	(0)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期			末				
		評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			%	%	5 年 以 上	2 年 以 上
アメリカ	千アメリカ・ドル 17,445	千アメリカ・ドル 18,832	千円 2,044,692	% 95.6	% -	% 39.7	% 39.3	% 16.6	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
アメリカ	JAPAN FIN. CORP. MUNI. ENT.	特 殊 債 券	2.1250	千アメリカ・ドル 1,200	千アメリカ・ドル 1,247	千円 135,482	2023/10/25
	Mizuho Financial Group Inc	社 債 券	3.4770	400	438	47,571	2026/04/12
	Meiji Yasuda Life Insurance Co	社 債 券	5.2000	800	901	97,821	2045/10/20
	Mitsubishi UFJ Financial Group Inc	社 債 券	3.8500	1,200	1,336	145,142	2026/03/01
	Sumitomo Mitsui Financial Group Inc	社 債 券	3.7840	1,200	1,331	144,590	2026/03/09
	Beam Suntory Inc	社 債 券	3.2500	1,045	1,098	119,316	2023/06/15
	Mitsui Sumitomo Insurance Co Ltd	社 債 券	7.0000	500	525	57,093	2072/03/15
	Sumitomo Life Insurance Co	社 債 券	6.5000	1,000	1,112	120,837	2073/09/20
	Dai-ichi Life Insurance Co Ltd/The	社 債 券	5.1000	1,200	1,325	143,898	永久債
	Nippon Life Insurance Co	社 債 券	5.1000	400	442	48,074	2044/10/16
	Fukoku Mutual Life Insurance Co	社 債 券	6.5000	800	888	96,410	永久債
	Fukoku Mutual Life Insurance Co	社 債 券	5.0000	600	663	71,981	永久債
	ORIX Corp	社 債 券	2.6500	1,000	1,001	108,773	2021/04/13
	ORIX Corp	社 債 券	3.9500	400	450	48,909	2027/01/19
	Sompo Japan Insurance Inc	社 債 券	5.3250	1,000	1,069	116,087	2073/03/28
	Takeda Pharmaceutical Co Ltd	社 債 券	4.4000	1,200	1,316	142,907	2023/11/26
	Mizuho Bank Ltd	社 債 券	2.9500	1,200	1,247	135,492	2022/10/17
	Mitsubishi UFJ Lease&Finance Co Ltd	社 債 券	2.6520	1,000	1,028	111,717	2022/09/19
	Mitsubishi Corp	社 債 券	3.3750	1,300	1,405	152,583	2024/07/23
合 計	銘 柄 数 金 額	19銘柄		17,445	18,832	2,044,692	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年3月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2,044,692	95.6
コール・ローン等、その他	94,365	4.4
投資信託財産総額	2,139,057	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108.57円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（2,072,304千円）の投資信託財産総額（2,139,057千円）に対する比率は、96.9%です。

■損益の状況

当期 自2020年9月11日 至2021年3月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	38,822,604円
受取利息	38,829,121
支払利息	△ 6,517
(B) 有価証券売買損益	13,684,213
売買益	45,317,293
売買損	△ 31,633,080
(C) その他費用	△ 98,549
(D) 当期損益金(A + B + C)	52,408,268
(E) 前期繰越損益金	233,013,749
(F) 解約差損益金	△ 162,097
(G) 合計(D + E + F)	285,259,920
次期繰越損益金(G)	285,259,920

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年3月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,139,057,704円
コール・ローン等	69,420,639
公社債(評価額)	2,044,692,698
未収利息	24,944,367
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A - B)	2,139,057,704
元本	1,853,797,784
次期繰越損益金	285,259,920
(D) 受益権総口数	1,853,797,784口
1万口当り基準価額(C / D)	11,539円

\* 期首における元本額は1,854,885,687円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は1,087,903円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日本企業外債ファンドS（為替ヘッジあり）2016-12 1,718,008,275円、ダイワ日本企業外債ファンドS（部分為替ヘッジあり）2016-12 135,789,509円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,539円です。